

日本の インド太平洋戦略と ウクライナ紛争

2030年日本・米国・インドの安全保障政策を
各国の立場から展望します。

視聴無料

先着500名

|要申込|

2023

2024

12.11(予定)~3.31 オンデマンド配信

2022年2月のウクライナ紛争以降、日本と米国は、新たな安全保障政策の枠組みとしてインド太平洋戦略を掲げています。そして、ロシアと戦後長きにわたり強い関係を持つインドは、独自の立場を維持しています。2030年にかけて、この日本、米国のインド太平洋戦略はどのような展開を見せるのか、そしてインドの対日政策、対米政策はどのように進むのかを、3名の有識者が講演します。

使用言語：英語（逐語通訳あり）

「日本のインド太平洋戦略と
ウクライナ紛争」



日本経済新聞社コメンテーター

秋田 浩之氏

1987年入社後、政治部、北京支局、ワシントン支局などを経て、2009年より編集委員兼論説委員、2017年2月より現職。2018年度ポーン・上田記念国際記者賞受賞。

「米国のインド太平洋戦略」



国際基督教大学教養学部教授

スティーブン・ナギ氏

インド太平洋の大国間競争と新興国との国際関係を専門とする。香港中文大学助教授、カナダ国際問題研究所等を経て現職。日本および北米において各種委員を務める。

「インドの対日本・米国・
ロシア政策」



ジャワハルラール・ネルー大学准教授/
インド防衛省防衛研究所客員フェロー

ティトゥリ・バス氏

インド太平洋地域の国際政治学、地政学を専門とする。現在、インド防衛研究所において客員フェローを務めるとともに、2022年には米国防務省の客員フェローも務めた。

司会：成蹊大学経済学部教授・アジア太平洋研究センター所長 永野 護

お申込

12.11~

下記URLまたはQRコードよりCAPS公式ウェブサイトにアクセスの上、
申込フォームに氏名・メールアドレス等をご入力ください。

※初めて当センターのイベントに参加される方は登録（無料）が必要です。

<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>



お申込はこちら

成蹊 アジア太平洋